



2019年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2018年11月5日

上場会社名 株式会社パーカーコーポレーション 上場取引所 東
 コード番号 9845 URL http://www.parkercorp.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊藤 善和
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役業務本部長 (氏名) 山崎 敏男 (TEL) 03-5644-0600
 四半期報告書提出予定日 2018年11月13日 配当支払開始予定日 2018年12月5日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第2四半期の連結業績(2018年4月1日~2018年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	25,109	5.0	1,905	2.8	2,072	1.0	1,419	△0.1
2018年3月期第2四半期	23,909	5.7	1,853	△0.3	2,052	19.5	1,420	21.4

(注) 包括利益 2019年3月期第2四半期 701百万円(△74.8%) 2018年3月期第2四半期 2,780百万円(216.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第2四半期	54.82	—
2018年3月期第2四半期	54.85	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第2四半期	52,308	30,902	53.8
2018年3月期	51,901	30,348	53.3

(参考) 自己資本 2019年3月期第2四半期 28,153百万円 2018年3月期 27,647百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
2019年3月期	—	6.00	—	—	—
2019年3月期(予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日~2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	50,000	1.1	3,800	5.4	4,000	2.1	2,600	6.7	100.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期2Q	26,801,452株	2018年3月期	26,801,452株
② 期末自己株式数	2019年3月期2Q	908,325株	2018年3月期	907,630株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期2Q	25,893,607株	2018年3月期2Q	25,896,125株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国、欧州、中国と総じて景気回復基調を維持しておりますが、米国の通商政策による国際的な貿易摩擦問題への懸念や中国経済の動向及び東アジアの地政学リスクの高まり等を背景に、景気の先行きは不透明な状況となっております。一方、わが国経済は、企業収益の改善に伴う設備投資の増加や雇用・所得環境の改善による個人消費の伸張もあり、緩やかな回復基調で推移しました。

このような経済情勢の下、当社グループは主力の自動車業界や電器・電子部品業界のグローバルな市場動向に注視しながら、事業セグメントごとに顧客により密着した事業活動を展開してまいりました。その一環として、より一層マーケティング力の強化を図り、市場性のある製品開発を推進することにより、経営の両輪である国内事業の競争力強化と海外収益の拡大を図ってまいりました。

その結果、当社グループの第2四半期の連結業績は、売上高は、25,109百万円と前年同四半期と比べ1,199百万円(5.0%)の増収となりました。営業利益は、1,905百万円と前年同四半期と比べ51百万円(2.8%)の増益、経常利益は、2,072百万円と前年同四半期と比べ20百万円(1.0%)の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は、子会社における固定資産除却損の計上により1,419百万円と前年同四半期と比べ1百万円(0.1%)の減益となりました。

セグメントごとの経営成績につきましては、次のとおりであります。

・機械部門

主力の国内外向け自動車用内装製造設備の製造販売が堅調に推移しましたが、製靴機械及び粉体塗装設備は低調に推移し、減収増益になりました。

当部門の売上高は、1,729百万円と前年同四半期と比べ192百万円(10.0%)の減収となり、営業利益は、157百万円と前年同四半期と比べ0百万円(0.2%)の増益となりました。

・化成品部門

国内外の自動車業界向けの製造販売は、主要自動車メーカー向けの販売は堅調に推移しましたが、営業利益は原材料の仕入価格高騰等により、増収減益となりました。

当部門の売上高は、8,355百万円と前年同四半期と比べ107百万円(1.3%)の増収となり、営業利益は、677百万円と前年同四半期と比べ136百万円(16.8%)の減益となりました。

・化学品部門

国内市場向けの一般工業用ケミカル及び特殊ケミカルの製造販売並びに輸出関連の販売が引続き順調に推移し、また原材料コストや生産効率の改善等により増収増益となりました。

当部門の売上高は、3,269百万円と前年同四半期と比べ218百万円(7.2%)の増収となり、営業利益は、260百万円と前年同四半期と比べ10百万円(4.3%)の増益となりました。

・産業用素材部門

家電用防音材の製造販売は、猛暑等の影響による顧客の増産及び業務用エアコンの販売が好調により増収増益となりました。

当部門の売上高は、8,430百万円と前年同四半期と比べ818百万円(10.8%)の増収となり、営業利益は、前期からの復調した子会社もあり、516百万円と前年同四半期と比べ93百万円(22.0%)の増益となりました。

・化工品部門

国内カーケアケミカル販売は、ガソリン価格高騰と異常気象の影響はありましたが堅調に推移し、ファインケミカル等の製造販売も、新規製品採用により、増収増益となりました。

当部門の売上高は、2,063百万円と前年同四半期と比べ148百万円(7.7%)の増収となり、営業利益は、211百万円と前年同四半期と比べ94百万円(81.3%)の増益となりました。

・その他部門

中国やロシアからの輸入販売は、堅調に推移しましたが、営業利益は原材料の仕入価格高騰等により、増収減益となりました。

当部門の売上高は、1,261百万円と前年同四半期と比べ99百万円(8.5%)の増収となり、営業利益は、81百万円と前年同四半期と比べ10百万円(11.2%)の減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①当期の財政状態の概況

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比べ406百万円増加し、52,308百万円となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金の減少(641百万円)、保有株式の時価の下落からの投資有価証券の減少(634百万円)がありましたが、現金及び預金の増加(1,073百万円)、商品及び製品の増加(107百万円)、長期貸付金の増加(361百万円)によるものです。

負債合計は前連結会計年度末と比べ147百万円減少し、21,406百万円となりました。主な要因は、繰延税金負債の減少(180百万円)によるものです。

純資産合計は前連結会計年度末と比べ553百万円増加し、30,902百万円となりました。主な要因は、その他有価証券評価差額金の減少(473百万円)、為替換算調整勘定の減少(315百万円)がありましたが、利益剰余金の増加(1,289百万円)があったことによるものです。

②当期のキャッシュ・フローの概況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前第2四半期連結会計期間末に比べ、1,187百万円の増加の10,808百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益2,039百万円(前年同期は2,051百万円)、減価償却費593百万円(前年同期は554百万円)、為替差損15百万円(前年同期は為替差益41百万円)、法人税等の支払額638百万円(前年同期は617百万円)等により、2,504百万円の収入(前年同期は2,676百万円の収入)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、新規製造設備・自動車用金型等の有形固定資産の取得による支出627百万円(前年同期は651百万円)、関係会社貸付けによる支出330百万円等により、1,037百万円の支出(前年同期は1,009百万円の支出)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の純増減額によるキャッシュ・フローの収入223百万円(前年同期は支出260百万円)、長期借入金の返済による支出217百万円(前年同期は321百万円)、配当金の支払129百万円(前年同期は129百万円)等により、229百万円の支出(前年同期は647百万円の支出)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結会計期間における業績は概ね計画通りに推移しており、前回公表の計画(2018年5月11日付決算短信)に修正はありません。また、今後におきましても、経済環境や市場動向を注視し、業績予想の適切な開示に努めてまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,753	10,826
受取手形及び売掛金	13,725	13,083
商品及び製品	3,431	3,539
仕掛品	445	507
原材料及び貯蔵品	1,121	1,142
その他	905	1,041
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	29,380	30,138
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	8,474	8,421
減価償却累計額	△5,377	△5,473
建物及び構築物(純額)	3,097	2,948
機械装置及び運搬具	7,290	7,183
減価償却累計額	△5,431	△5,355
機械装置及び運搬具(純額)	1,858	1,827
土地	6,323	6,300
リース資産	540	531
減価償却累計額	△242	△168
リース資産(純額)	298	363
建設仮勘定	284	359
その他	3,609	3,607
減価償却累計額	△3,006	△3,012
その他(純額)	602	594
有形固定資産合計	12,464	12,394
無形固定資産		
借地権	49	47
その他	436	457
無形固定資産合計	486	504
投資その他の資産		
投資有価証券	7,094	6,460
長期貸付金	233	594
繰延税金資産	256	263
その他	2,148	2,063
貸倒引当金	△162	△111
投資その他の資産合計	9,570	9,270
固定資産合計	22,521	22,169
資産合計	51,901	52,308

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,743	8,761
短期借入金	3,117	3,318
1年内返済予定の長期借入金	584	1,056
リース債務	124	165
未払法人税等	630	465
賞与引当金	690	696
その他	1,767	2,014
流動負債合計	15,658	16,477
固定負債		
長期借入金	2,762	2,065
リース債務	198	227
繰延税金負債	1,039	859
役員退職慰労引当金	300	137
退職給付に係る負債	1,519	1,562
資産除去債務	16	16
その他	56	58
固定負債合計	5,894	4,928
負債合計	21,553	21,406
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,201	2,201
資本剰余金	2,277	2,277
利益剰余金	18,740	20,030
自己株式	△210	△211
株主資本合計	23,008	24,298
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,098	3,624
繰延ヘッジ損益	△0	4
為替換算調整勘定	541	225
退職給付に係る調整累計額	0	0
その他の包括利益累計額合計	4,639	3,855
非支配株主持分	2,700	2,749
純資産合計	30,348	30,902
負債純資産合計	51,901	52,308

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)
売上高	23,909	25,109
売上原価	17,679	18,656
売上総利益	6,230	6,453
販売費及び一般管理費	4,377	4,547
営業利益	1,853	1,905
営業外収益		
受取利息	14	18
受取配当金	35	45
持分法による投資利益	83	63
為替差益	55	-
貸倒引当金戻入額	-	49
その他	47	42
営業外収益合計	235	219
営業外費用		
支払利息	28	24
為替差損	-	18
その他	8	8
営業外費用合計	36	51
経常利益	2,052	2,072
特別利益		
固定資産売却益	0	3
特別利益合計	0	3
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	1	36
特別損失合計	1	36
税金等調整前四半期純利益	2,051	2,039
法人税、住民税及び事業税	451	492
法人税等調整額	20	△27
法人税等合計	472	464
四半期純利益	1,578	1,574
非支配株主に帰属する四半期純利益	158	155
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,420	1,419

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
四半期純利益	1,578	1,574
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	943	△366
繰延ヘッジ損益	7	5
為替換算調整勘定	△4	△365
退職給付に係る調整額	0	△0
持分法適用会社に対する持分相当額	254	△145
その他の包括利益合計	1,201	△872
四半期包括利益	2,780	701
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,584	635
非支配株主に係る四半期包括利益	195	66

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,051	2,039
減価償却費	554	593
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△3	△50
賞与引当金の増減額 (△は減少)	2	5
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	41	43
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	62	△163
受取利息及び受取配当金	△49	△63
支払利息	28	24
持分法による投資損益 (△は益)	△83	△63
有形固定資産除却損	1	36
有形固定資産売却損益 (△は益)	△0	△3
為替差損益 (△は益)	△41	15
売上債権の増減額 (△は増加)	402	496
たな卸資産の増減額 (△は増加)	43	△280
仕入債務の増減額 (△は減少)	377	148
その他	△120	318
小計	3,266	3,099
利息及び配当金の受取額	55	67
利息の支払額	△28	△24
法人税等の支払額	△617	△638
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,676	2,504
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額 (△は増加)	△33	14
有形固定資産の取得による支出	△651	△627
有形固定資産の売却による収入	1	8
無形固定資産の取得による支出	△18	△62
投資有価証券の取得による支出	△5	△4
関係会社貸付けによる支出	-	△330
長期貸付けによる支出	-	△31
貸付金の回収による収入	27	-
関係会社出資金の払込による支出	△270	-
その他	△59	△5
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,009	△1,037

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△260	223
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△58	△87
長期借入れによる収入	137	-
長期借入金の返済による支出	△321	△217
配当金の支払額	△129	△129
非支配株主への配当金の支払額	△13	△18
その他	△1	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△647	△229
現金及び現金同等物に係る換算差額	10	△146
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,029	1,090
現金及び現金同等物の期首残高	8,577	9,717
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	14	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,620	10,808

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 2
	機械部門	化成品 部門	化学品 部門	産業用 素材部門	化工品 部門	計				
売上高										
外部顧客への売上高	1,921	8,248	3,051	7,611	1,915	22,747	1,162	23,909	—	23,909
セグメント間の 内部売上高又は振替高	32	71	48	154	1	309	337	646	△646	—
計	1,954	8,319	3,099	7,766	1,916	23,056	1,499	24,556	△646	23,909
セグメント利益	157	814	250	423	116	1,761	92	1,853	—	1,853

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、石油関連商品・不動産賃貸を含んでおります。

2 報告セグメントの利益と四半期連結損益計算書の営業利益との差額は、「その他」の区分の利益であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 2
	機械部門	化成品 部門	化学品 部門	産業用 素材部門	化工品 部門	計				
売上高										
外部顧客への売上高	1,729	8,355	3,269	8,430	2,063	23,847	1,261	25,109	—	25,109
セグメント間の 内部売上高又は振替高	147	85	54	9	0	297	429	726	△726	—
計	1,877	8,440	3,324	8,439	2,063	24,145	1,690	25,835	△726	25,109
セグメント利益	157	677	260	516	211	1,823	81	1,905	—	1,905

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、石油関連商品・不動産賃貸を含んでおります。

2 報告セグメントの利益と四半期連結損益計算書の営業利益との差額は、「その他」の区分の利益であります。